

公共施設在り方検討委員会の検討経過

1. これまでの実施概要

第1回 令和6年8月26日(月) 09:50~11:55

議題:

- ①市公共施設在り方検討委員会について
- ②公共施設の在り方・再編方針のイメージと検討の進め方について
- ③公共施設の現況と課題及び検討の論点について
- ④ワークショップの概要について
- ⑤次回以降の開催日について

第2回 令和6年11月25日(月) 09:30~11:30

議題:

- ①検討の進め方について(本日の位置づけ)
- ②公共施設等の現況等について
- ③公共施設機能の現状とこれからの在り方について
 - ・各課ヒアリング結果の概要について
 - ・職員検討会について
 - ・これからの公共施設の将来ビジョンについて
 - ・これからの公共施設の将来ビジョンを踏まえた必要な機能について
- ④相乗効果が見込まれる公共施設機能の組合せについて

第3回 令和7年3月17日(月) 10:00~

報告:

- ①公共施設等の現況等について
- ②職員検討会の結果について
- ③市民ワークショップの結果について

議題:

- ①これからの公共施設の在り方について
 - ・これからの公共施設の将来ビジョンについて
 - ・施設配置方針(エリアの捉え方)について

2. 第2回までの検討経緯(主な意見)

第1回: 現況・課題や検討の論点について

現況・課題認識

- ・施設の集約化・複合化が意義のある手法であることがわかる資料がほしい
- ・現況・課題認識等に関して、以下の情報提供が求められた
 - 施設の利用状況
 - 近隣市の施設及びその利用状況
 - 公共施設へのアクセス状況
 - 上位計画における公共サービスの考え方
 - 「公共施設マネジメントの構築に向けて」策定以降の市としての施策レビュー
 - 民間再開発を見込んだ人口推計情報
 - 公共施設の利用者特性を踏まえた人口動態
 - 有事の際の避難場所となる施設と受入人数の想定
 - 学校を軸とした地域の活動状況

検討の進め方

- ・市政運営に携わっている職員の意見も聞きながら、委員会を進めていくべき
- ・総量抑制は大前提としつつも、各部署の事業への考えをもって検討してほしい
- ・市民ワークショップは、参加型の場にしてほしい。
- ・市民ワークショップのテーマは、検討委員会での議論の参考となるものにしてほしい。検討委員会でたてた仮説について、意見をいただく形式ではどうか

検討の論点

- ・市民サービスの向上の前に、時代に応じた市民サービスを提供・維持していくことが大前提
- ・公共施設経営の視点も大きな論点、受益者負担や外部資金調達の見点も加えてほしい
- ・学校施設の活用が大きな課題であるが、小学校の教室が不足状態にあること、社会教育の面からも大きなニーズがあることを認識いただきたい

第2回: 現状・課題の捉え方、公共施設のこれからの在り方について

現況・課題認識

- ・市として施設の利用状況をどのように評価しているか整理が必要
- ・以下の情報提供が求められた
 - 既存施設の複合化状況
 - 施設分布図への名称の記載及び図の拡大
 - 市が保有はしていないが、財政負担をしている施設の状況
 - 各施設のバリアフリー化への対応可否
 - 学校施設敷地の法的な活用ポテンシャル(容積率の消化状況等)

検討の進め方

- ・各施設の所管課へのヒアリングは継続して行うべき
- ・職員検討会を2回で終了するのはもったいない、このような場でのアイデアをもとに提案書を作っていくこともあってよいのではないか

検討の論点

- ・学校施設に関しては特出して検討するべき
- ・学校施設以外の在り方についても議論するべき
- ・論点の優先順位付けをしてほしい
- ・相乗効果として見込んでいる効果がわかりにくい

公共施設のこれからの在り方

【共通】

- ・将来無人管理も見据え、エネルギー等の設備を遠隔で自動管理するような仕組みや、DXによる施設管理の全体最適化について検討できるとよい
- ・自由に使える施設であっても、想定される使われ方を示すなどある程度の規律は必要
- ・自由に使えるだけでなく、転用できる視点も必要
- ・多様な人が使う施設であることも認識しておくべき
- ・複合化によって創出される余剰の公有地に対しても資産として捉えるべき
- ・機能・サービスに応じて受益者負担とすることもあってよいのではないか
- ・新庁舎及び新福祉会館建設事業におけるコンセプトやその検討経緯を参考にすべき
- ・東小金井の居間(リビング)の計画も参考にすべき

【学校施設】

- ・地域が利用できる諸室や学童保育所の諸室の確保等を検討されており、今後は、学校の建替時に様々な施設との複合化が見込まれるのではないか
- ・老朽化状況は学校によって異なるので、優先度をつけて、早急に対応すべき施設は対応していく必要がある
- ・学校施設の複合化などを検討する際には、子どもの検討に参加できるプロセスをとってほしい
- ・R10年度まで児童・生徒数の増加が見込まれている中で、別施設との複合化は考えにくい。夜間の教室利用や音楽室等の開放、プールの共同利用などの方法がとれるとよい。

【子育て支援施設】

- ・教育相談、不登校の学びの場はとても重要。フリースクールなども含めて行政が支えなければいけないことについては議論を深めていくべき

【図書館】

- ・駅前などでの図書受取ポストの設置
- ・受取ポストなどでもおすすめ本の紹介・感想返信機能の導入